

鑄匠「大野五郎右衛門」の名が記された最古の資料

どうぞうしょうかんぜおんぼさつりゅうぞう
銅造 聖 観世音菩薩立像



聖観世音菩薩立像（正面）

背面部の銘文 めいぶん

この観音像は、市内茅野の善雄寺かやの ぜんのうじに所蔵されている像高 68.5cm、重量 21.8kg の鑄造仏ちゅうぞうぶつです。背面部等の銘文から、鑄造は鑄物師大工である平賀内蔵助いもし ひらがらのすけの作であることが判りました。この銘文の中には「鎌倉の大仏かまくら」との関連について、多くの伝承でんしょうや挿話そうわが残る「大野五郎右衛門おおのごろううえもん」（実際の銘文は大野五郎右門おおのごろううもん）の名が刻まれています。このことから作者は「大野五郎右衛門」の門弟もしくは工房の工人こうじんであったと考えられています。「大野五郎右衛門」は永く世襲せしゅうされた名跡みやうせきで、中世から当地域を中心に活躍していた鑄物師の棟梁とうりょうであった家系の人物として知られています。ここに刻まれた銘は、その存在を明らかにする数多くの資料の中にあって最も古い資料です。

市指定文化財：有形文化財（歴史資料）

指定年月日：平成 25 年 8 月 20 日

所在地：木更津市茅野 683-1

所有者：宗教法人 善雄寺

員数：1 軀

公開・非公開の別：非公開
